



後世に伝えたい 畑パンフレット

昨年度から中核活動として取り組んできた畑での野菜作り。国語「おすすめパンフレットをつくろう」の学習では、「畑のことをパンフレットにして図書館に残していきたい」という子どもたちの願いから学習が始まりました。

パンフレットに載せる内容を決める場面では、「土の状態」、「野菜の品種」、「連作障害に気をつけること」、「一言コメントや生産者の声」なども残していこうと決まりました。「自分たちだからこその内容」、「自分たちにしか書けないことを残していけたらカッコいい」という声もあり、畑から学んだことや畑の魅力をみんなで考え、材料を集める時間を設定しました。

その日の授業では、子どもたちが自分の成長を振り返るきっかけになってほしいと願い、「雑草魂」などの「言葉」と、子どもたちの学校生活の「写真」を私が紹介しました。

Aさんは「雑草魂」という言葉から、「雑草魂で、何事にも諦めずに頑張っていけば、いつか成功する」ということがわかりました。（例：漢字50問テスト）」というように、言葉と自分の経験をつなげて考えている姿がありました。

抜いても抜いても生えてくる雑草の力強さと、がんばって漢字練習に取り組めた自分をつなげて考えていたのでしょうか。また、Aさんの振り返りには、以下のことが綴られていました。

この学習を通して、すべての物事は必ずつながっていると思いました。理由は、物事を追究していると、協力が必要になるし、自分の殻も破れるし、見通しや段取りをしないとうまくいかないし、雑草魂のように根気強くやらないといい結果はついてこない。だからこそすべてはつながっていると思いました。

Bさんは、「野菜作りを通して、物事をいろいろな角度から考えられるようになった」と語っていました。Bさんは、野菜がうまく育たないとき、原因が何なのか一生懸命考えていました。そのことを、普段の生活や学習にもつなげられるBさんでした。

畑を通して学んだことや、畑の魅力をたくさん集めていた子どもたち。これから集めた情報を構成して、パンフレットにまとめ図書館に6年2組の軌跡を残していけたら嬉しいです。



畑パンフレットの表紙

